沿　革

1970年３月　岡山県阿新圏域（当時の新見市・大佐町・神郷町・哲多町・哲西町で構成され、現在の新見市域に相当）振興計画に「短期大学の誘致」策定
1973年５月　新見市振興計画に「短期大学の誘致」策定
1976年５月　新見市議会全員協議会で市長が「短期大学設置」に関する所信表明
1977年４月　新見市立商業高等学校の県営移管跡地・校舎を短期大学設置に利用することを予定
1978年１月　新見市立女子短期大学創設準備室発足
1978年５月　新見市、阿哲郡４町（大佐町・神郷町・哲多町・哲西町）で短期大学の広域事業実施の協力要請
1978年９月　新見市、阿哲郡４町で短期大学関係議案を可決
阿新広域事務組合規約改正（短期大学事務を追加）
1978年10月　新見市立女子短期大学創設準備室を阿新広域事務組合立短期大学創設準備室と名称変更し新発足（この1978年10月2日（月）を記念して、後に開学記念日に制定）
1979年６月　新見女子短期大学設置認可申請を文部大臣に提出
1979年９月　現３号館完成
1980年１月　文部大臣から大学設置認可
1980年２月　文部大臣から「幼稚園教員養成課程」の認定
1980年３月　厚生大臣から「保母を養成する学校」として指定
1980年４月　文部大臣から「看護婦学校」として指定
阿新広域事務組合立新見女子短期大学開学（看護学科３年制入学定員50人・幼児教育学科２年制入学定員50人）
初代学長　岡本　正
1983年４月　二代学長　岩田清二
1984年４月　三代学長　那須　毅
1986年４月　看護学科入学定員を50人から60人に変更
1991年９月　学生会館完成
1992年４月　新見女子短期大学学科増設準備室設置
1993年４月　四代学長　小田琢三
1995年10月　現１・２号館完成
1995年12月　文部大臣から「地域福祉学科」設置認可
1996年３月　厚生大臣から「介護福祉士養成施設」として指定
1996年４月　**地域福祉学科開設**（２年制入学定員50人）
1997年４月　ドメイン名 niimi-c.ac.jp を取得し、大学の公式ウェブサイト（http://www.niimi-c.ac.jp/）を開設
1997年10月　入試事務を電算処理に移行

1998年４月　五代学長　新居志郎

1999年４月　**新見公立短期大学に大学名変更**
看護学科・幼児教育学科 男女共学化

2000年４月　地域福祉学科　男女共学化
学内情報ネットワーク設置・専用線によるインターネット接続開始

2002年４月　六代学長　難波正義

2002年４月　2002年度入学生から学籍・履修・成績管理を順次電算化
図書館の蔵書検索・貸出業務を電算化

2004年４月　文部科学大臣から「保健師学校」として指定
地域看護学専攻科開設（１年制入学定員15人）

2004年7月　文部科学大臣から幼児期教育学科の「地域と創るにいみこどもフェスタ」が平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定

2005年２月　地域看護学専攻科が独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を受けられる専攻科として認定

2005年３月　新見市、阿哲郡４町合併により新見市立新見公立短期大学に変更

2005年11月　新見公立短期大学学位規程制定（短期大学士）

2006年３月　大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受け、新見公立短期大学が「短期大学の評価基準を満たしている」と評価

2006年7月　文部科学大臣から幼児教育学科と岡山大学など９校とが共同で「大学コンソーシアムによる保育者の養成」が平成18年度「資質の高い教員養成推進プログラム」に選定
文部科学大臣から看護学科の「地域のニーズに応える看護専門職養成」が平成18年度「現代的教育ニーズ支援プログラム」に選定

2006年8月　文部科学大臣から幼児教育学科の「実践力が育つ保育者養成システム」が平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定

2007年１月　法人化推進室開設

2007年8月　文部科学大臣から看護学科の「電子カルテ情報システムによる看護基礎教育」が平成19年度「現代的教育ニーズ支援プログラム」に選定
文部科学大臣から看護学科の「質の高い看護職養成のための看護研究」が平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定

2007年11月　新見市学術交流センター・新見公立短期大学附属図書館完成

2008年４月　新見市が公立大学法人新見公立短期大学設立（法人化）
四大化準備室開設

2009年３月　新見公立大学設置認可申請を文部科学大臣に提出

2009年７月　2010年４月の新見公立短期大学看護学科学生募集停止を文部科学大臣に報告

2009年10月　法人名を公立大学法人新見公立大学に変更

2010年４月　**新見公立大学開学**（看護学部看護学科：４年制入学定員60人）

2012 年３月　新見公立短期大学看護学科廃止

2012 年４月　新見公立短期大学地域看護学専攻科学生募集停止

2013 年３月　本館・体育館改築完成

2013 年３月　大学基準協会の機関別認証評価を受け、新見公立短期大学が「本協会の短期大学基準に適合している。認定の期間は2020（平成32）年３月31 日までとする。」と評価

2013 年３月　新見公立短期大学地域看護学専攻科廃止

2014年４月　新見公立大学大学院開学（看護学研究科看護学専攻）

2015年４月　新見公立大学助産学専攻科開設

2016年４月　七代学長　公文裕巳

2017年４月　健康科学部看護学科に名称変更

2018年10月　文部科学大臣から「幼稚園教諭１種免許状の課程」、「特別支援学校教諭１種免許の課程」、「養護教諭１種免許状の課程」の認定

2019年３月　厚生労働大臣から「介護福祉士養成施設」、「社会福祉士養成施設」として指定厚生労働大臣から「保育士養成施設」として指定

2019年４月　健康科学部地域福祉学科、健康科学部健康保育学科開設

健康科学部看護学科入学定員６０人から８０人に変更

2020年３月　新見公立短期大学地域福祉学科、幼児教育学科閉学

2020年10月　地域共生推進センター棟完成 竣工式

2022年４月　ＮｉＵ新見駅西サテライト開設

2023年４月　大学院 健康科学研究科に名称変更

看護学専攻(博士後期課程)･地域福祉学専攻(修士課程)を開設

2025年４月　摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程（Ｂ課程）を開設